

7 直列多段式鶏舎における高病原性鳥インフルエンザ（H P A I）発生時の捕鳥台車を活用した防疫措置の検討

南丹家畜保健衛生所
○黒田 鼓 寺石 武史

【概要】2012年10月、直列多段式鶏舎でのH P A I発生を想定し、管内10万羽規模の採卵鶏農場（直列5段ウインドレス鶏舎）で農場防疫訓練を実施。さらに、処分鶏の輸送・焼却の訓練を行うとともに、全庁的な情報伝達、緊急動員、防護服着脱訓練等の総合訓練を実施し、府対策マニュアルの流れを検証。当所は農場での殺処分を担当し、直列多段式鶏舎の上層段ケージの捕鳥作業を迅速・安全に行うため、畜産センターの協力を得て、ボイド管付き、二人乗り用の捕鳥台車を検討作成。廃鶏591羽（5段18列）を対象に殺処分に係る捕鳥台車の有効性、作業の流れを検証。

【捕鳥台車の検証】捕鳥作業は、高さ230cm以上の4段目5段目ケージで安全性と有効性を確認。また動線の確保により運搬作業が迅速に進んだため、死亡鶏の詰替作業等防疫措置後半で当初計画の人員では不足。実地訓練における作業班の編制を再検討した結果、10万羽規模の直列多段式鶏舎において特定家畜伝染病防疫指針に示された24時間以内での殺処分から密封容器への詰め込み作業の完了が可能であることが示唆。

【捕鳥台車の汎用性確認】管内の10万羽規模多段式鶏舎を所有する4農場について調査を実施。高さを調整することにより、いずれの農場でも利用できる捕鳥台車を作成し、1農場でその台車の汎用性を現地確認。